

年 組 名前：

校則見直し 生徒の意見を

文科省 ブラック是正へ手引書改訂



校則について話し合う埼玉県神川町立神川中の生徒会メンバーら（7月）

文科省の有識者会議は26日、児童生徒の生活面の注意点や問題行動への対処を示した教員用「生徒指導提要」の改訂版をまとめた。「ブラック校則」とも呼ばれる不合理な校則の是正に向け、子どもの意見を反映し、必要性が説明できないなら検証して見直すことを求めるのが柱。2010年に作成した現行版の初改訂となり、近く同省ホームページで公開する。

従来は、いじめや非行など問題行動への対応に主軸を置いたが、児童生徒の主体性を生かす指導を重視した内容に転換する。日本が子どもの権利条約を批准していること

明示して「児童生徒の基本的人権に配慮し、一人一人を大切にされた教育」の大切さを説いた。

現行版では「制服の着用、パーマ・脱色、化粧」などに

校則のホームページ公開を推奨。あらかじめ見直し手続きを定めることや、少数派の意見も尊重したルールにすることが望ましいとした。

また性的少数者への対応に関する内容を盛り込んだ。教職員が理解を深め、差別やいじめを許さない指導を求める。当事者が秘匿したい場合に注意しつつ、専門家と連携してチームで支援することも要請。服装やトイレの扱いな

(2022年8月27日付 山梨日日新聞 28面)

と具体的な配慮の方法も示した。

他に、13年に施行した「いじめ防止対策推進法」の説明や、部活動における不適切指導を防ぐ注意点も載せた。改訂版は約280ページ。今回から冊子では配布せず、デジタル版のみとした。

問1

生徒の意見を反映した改訂版「生徒指導提要」は、従来と比較してどのように変更されていますか。

従来は.....を置いていたが

改訂版では.....に転換する。

問2 新たに掲載された項目を、記事の中から書き出してください。

-
-
-
-
-